

(2020/5/01)

トマトの苗 (ステーキハウス) と矮性パパイヤ (紅天狗) の苗が相次いで、届きました。  
 郵便局で支払いを済ませまして、ミニ温室にしばらく置きます(4/10)。 トマトは、一度鉢替えを済ませて、用意しておいたトマト畝に。 パパイヤは中鉢に移植して6月頃に暖くなるのを待って、鉢のまま農園にお置きます。 秋になったら家に取り込むのに都合の良いように布製の鉢に植えます。 パパイヤで、また楽しみが一つ増えました。 青い実は野菜として、大根のように扱うと良いそうです。 完熟すると甘いとの事で、楽しみにしています。 後日報告いたします。

トマト(ステーキハウス)なるものは、巨大トマトでありまして、小児の両手に余るほどの大きさになるとの事でオドロキ！。 3年前に作った時は、果枝に3個成らせましたのでそんなに大きくはなりませんでしたが、1果にすれば巨大トマトになりそうです。 茎に葉に果枝に、大量の毛。 栽培上の注意に雨除けを作るようにとありますので、U字支柱を使って覆いたい。 トマトの苗に、何処でついたのかとても小さなアブラムシ。 始めて見た種類でした。 殺虫剤は使いたくないのですが、家庭用のスプレーで、「シュッ」。 日を置いてもう一二度、「シュッ」。 アブラムシを農園に持ち込みたくないの、厳しくチェックしなければなりません。 温室の棚に置いていたので、目線の位置でした。 で発見できました。 3日ほど経つと若芽の部分に葉害が出てしまいました。 薬剤のマイナス気化熱で凍傷が出てしまったようです。 回復するように湿度の高い場所に置きなおしますと、元気になりました。



ステーキハウス ジャボチカバ パパイヤとサービス品夏野菜



子供の両手で持つ ステーキハウス(トマト)

4/24 クワイのコンテナーに、オタマジャクシとメダカを放ちました。 「蚊」除け。  
 オタマジャクシは、井草川で採取したカントウヒキガエルです。 60年ほど前に中学校で、生物を教えていた時に捕まえてきたものであります。 カエルの解剖は、普段は業者から購入して準備します。 当時、沢山おりました。 生徒に呼びかけると子供たちが捕まえてまいりまして、たちまちカエルの山・・・と言う分けです。 余ったオタマは、我が家の小池に。 それ以来、ヒキガエルが、我が家の池で毎年産卵している。

春の雨に誘われて、「ケロケロ、ギアギア」鳥獣戯画に出てくるカエル玉。小池がオタマノお汁粉状。バケツに入れて、善福寺川に。バイバイ！　そうでもしないと、小池が大変。当時、大泉の白子川。井頭の池から川越街道に至る川筋はカエルだらけでありました。増えてしょうがないので、善福寺井公園のボート池にも放つ！

メダカ JRに西荻駅の改札を出て、東に。淡水魚の専門店があります。ケーキとフランス料理の「こけし屋」の近くです。ガード下に沿って東に行きますとそのお店はあります。「この子たちは〇〇県〇〇川水系のメダカ」。「今朝、空輸されたものですヨ」とか、担当の社長(女性)が、事細かに教えて下さる。

杉並の須田先生(昨年亡くなる)、上石神井の日野さん。ご両人は、メダカの専門家であります。先生がお飼になっている神田川流域の純系のメダカ。日野氏のメダカは、交配して作られたきれいなメダカです。おねだりしたのですが、断られてしまいました。

今、私の小池に繁殖しているのは混ぜて飼ってしまっているので交雑種…。福岡県遠賀川水系と埼玉県東松山のため池の混血種です。

小池で飼うのは宜しいのですが、増えたメダカを勝手に千川上水に放したりしてはなりませんと、日野さん、須田先生も強く申ししておりました。まー…、メダカについてはこんな次第であります。

茨城県利根川、成田の西に佐倉宗五郎の寺の境内に淡水魚の佃煮店がありますが、そこで生きた魚を手に入れることができます。関心のある方は、ご連絡いただければ電話番号をお教えいたします。

姫蓮根 大阪「国華園」(通信販売)で、3年前に取り寄せて植えてみました。花がきれいでレンコン部分が誠に小さい。洗いましてそのままいただきますと、まこと蓮根であります。炊きあがりのご飯に味付きの煮出した蓮根を混ぜると、蓮根飯。ウマイ。

種子が出来たので、翌春種皮をやすりで削って蒔きましたが、発芽しませんでした。今年もトライしてみます。大きめのコンテナの栓をして、その中に小振りのコンテナに置きまして植えました。鉢底のサナの下に巨大な煮干し、赤玉土大玉少々。田土(荒木田土)を入れまして植えました。かわいい芽が上がってきました。



奥から姫蓮根のコンテナ 中央セリを植える 茶色クワイ  
クワイのコンテナにメダカ、オタマジャクシを入れる



奥の蓮根のコンテナの水が白濁する 腐敗臭が！  
水を変える。蓮根が腐り始めている。臭い！

ところが事件!!!。コンテナの水が白く濁っているではありませんか。レンコンの勢いがありません。水がドブ臭くなっているのです。薬品の匂い?.....。それはない。腐臭がひどい。「蚊」の発生を防ぐために入れた「メダカ」。「オタマ」入れていたのですが、姿を消しているので気にはしていたのですが...

クワイも姫蓮根も引っっこ抜いてコンテナのカバーの上に日干し。ム・ム・ム..... 我ながら怒る。死にかけたクワイと姫蓮根をコンテナの土に押し込む。「生き返っておくれ」。次の日に農園にい行きますと、全く同じ状態で再び日干しにされているのです。

12年間、耕作してきた「上石神井南農園」では、そんな目に合うことは全くなかった。「関町南3丁目農園」でおこった初体験の事件であります。子供のイタズラなら、そんな手の込んだことは思いつきませんよね。これは立派な犯罪と言えましょう。

聞けば、関町南の2つの農園では度々そのようなことが繰り返されておるようであります。10年?、10年以上...、起き続けていると聞きます。警察が入ったこともあったと聞いています。

少年みみたいな75~6歳ぐらいのオカタと話し込んだことがあります。それから始まっています。もっと具体的に描きたいのですがここでは伏せておきます。あまり繰り返しておこるので、状況は撮影してあります。許せる範囲を超えております。「少年H」氏と名付けた方には、全く困っています。これからは、「少年H氏」と呼ぼう。

「誰とでも等しく挨拶を」と心がけてきた私ですが、それが、失敗でした。植物(生物)を育てる人は善人が多いと思いついていた私の失敗でもあります。

これからも続くようであれば、「農園便り」で公表していくつもりです。練馬区の住民の「恥」を公表し続けます。関町南の地区にはこのような人物がのさばっていることが不思議であります。「農園便り」100号を目指す私です。世間様に訴え続けてまいります。事の始まりは、ブロッコリーの苗4本、ジャーマンカモミール苗1本、さらにブロッコリー3本が持ち去られました。これは変だなと思いました。上石神井農園時代の仲間の方にいただいた苗ですから、私の思い違いではありません。「H」氏は私が気付いていないと、思われているのでしょうか。再三繰り返されるということは、許しがたい。

4/25

4/25



手前から、坊ちゃんカボチャ トウモロコシ 奥はパパイヤ、トマト 右の写真は、アフリカンマリーゴールド、他

10日ほど前に蒔きましたトウモロコシ、ミニカボチャ、オクラ、元気に発芽して双葉の間に本葉がのぞきはじめました。

トウモロコシは、本葉が3枚。そろそろ畑の畝に植えることになると思います。 北海

道ではまだ雪が降るようで、遅霜を心配するのですが、用意しておいた畝に植え付けます。

浅草の河童橋商店街で仕入れた、トング(食材を挟むもの)が、育苗トレー鉢の幅に合うので、そーっと挟んで抜いて植え付けます。園芸資材としてもそれなりのものがあるのですが、このトングは調子が良い。中華料理の一品を取り分ける時に使うアレです。ピンセット状のものです。

鉢底から白根が覗くあたりで移植すると活着が良い。 鉢底で根がグルグル巻いてしまったものは調子を落とす。移植も適期というものがあるのでしょう。

育苗鉢の大きさに合わせてトングを用意したいのですが、カッパ橋は遠いいし、歩くのが大変。東急ハウズのピンセット売り場で探すのも良いのですが、値段が高めでしょう。100円ショップの手もありますね。探してみようと思います。有ると良いですよ。

南瓜はミニ種でも2本がやっとな。 区民農園の区画が狭いので我慢です。支柱を立てて立体栽培。でも、高さ制限がありますから、程々にしないとなりません。オクラとトウモロコシは、インゲン豆などの支柱に使うと良いそうなのでやってみます。使える物は何でも使う…ナノデスです。

日本古来の野菜 フキ、ツワブキ、ゴボウ、アシタバ、ミツバ、セリ、ツルナ、ハタワサビ、ノビル、アザミ、ヤブカンゾウ、ミヨウガ、……。さらに健康野菜として植えられている雲南百薬草、西洋タンポポ、食用キク、オオバコ、ハーブ類…。それらを利用します。ハーブ類も使います。菜園の周囲に植えています。このような野菜で区画の周囲を囲みますと病虫害を防ぐいわゆるバンカー植物として利用できる。やっています。

注意しなければならないことは、冬季の病虫害であります。早春に葉先や根際、芽先、葉、葉裏、などをよく観察する。病気や害虫の存在を発見することがあります。その年の発生予察ということになります。アブラムシがべったりついていたたり、うどん粉病が出ていたりします。対策を講じる分けです

農園58区 最近の様子



左の写真は、4/28 中央作業路に置かれたコンテナの薬物野菜と資材 北側に畝の薬物 ニラ ナス(霜除けキャップ)  
右の写真は、同 4/27 南側の畝に混播・混植されて薬物野菜たち、切り取って別の畝やコンテナの中に置く(植える)

T